

〈08 戦争と平和を考える特別旬間〉

2年目を迎え、県内に多彩に広がる平和の取り組み

「北茨城・九条の会」“平和展”を終えて

「北茨城・九条の会」・北茨城平和の会 藤田 稜威雄

●4か所・12日間の北茨城・九条の会主催“平和展”も約500名の方々に来場頂き終了しました。戦争反対・平和はあたりまえのこと、国際貢献のための自衛隊派遣には賛成、「九条の会？なにをする会ですか。」そんな認識・土壌の北茨城での12日間の「平和展」でした。

●“平和展”への準備中にあるできごとがありました。協力を依頼したある会員よりカンパ金を同封した手紙が届きました。「“平和展”に顔を出せない。申し訳ないので退会したい」との趣旨でした。

定年5年経過の自分、「平和」への思いがあっても、不安があっても、“自らの行動に移せない人達”が多数いることに気づきました。①仕事を持っている（現役、学生も含む）②両親の介護・本人の健康不安（高齢化もあり）動けない③社会的な立場・環境で「特定な人の活動」と見られたくない。

早速、電話そして手紙を。「九条の会」は顔を出せなくても、行動に移せなくても、「平和の思いがあつて九条を改正しようとすることに反対ならそれでOKですよ」と。いろいろな考えの人がおられることを承知しての退会の慰留（自分の考えを確かめるような）でした。

●「九条の会を北茨城にも」4人足らずで計画し、九条の会が発足して6か月。80人近くの仲間力は凄い。展示ボードを無償製作のひと、民宿の部屋を展示準備のために提供してくれるひと、いろいろなサークルに所属している会員が“平和展”のPR・来場の呼びかけを、そして展示する企画に必要な資料を収集してくれるひと。うまく持ち場が出来上がるもの。偉大なる総合力を力強く感じました。

また、テレビ福島取材で会員2名が出演（風船爆弾）、茨城新聞他の取材もあり、来場者に関心を持って頂いた様子。それにもまして“平和展”のさなかに新たな資料を提供して下さった方々の存在も有り難く。（シベリヤ抑留

体験の著作本提供者、出征時の父親の遺言の手紙提供の女性）

●「北茨城・九条の会」の存在を多少なりともアピールできた“平和展”でしたが、課題もまた多数。①若い世代・小中高生への働きかけと企画。②予想以上に、平和の危機に対する認識不足者多数を痛感しました。学校他への出前展示・平和展など。5年、10年後を見据えてどうすれば気づいて貰えるか。③そして活動が過重にならないよう



な工夫などなど。先輩の県内九条の会の活動を参考にして、継続していきます。

「戦争と平和を考えるパネル展」開かれる

常陸太田市平和の会 篠原睦美

昨年に引き続いて今夏で2回目となるパネル展は「狩野光男氏が描く東京大空襲の絵画と記録写真」を展示しました。期間は8月6日から10日の5日間でしたが100人以上の人が会場に足を運んでくれました。

東京大空襲は、1945年（昭和20年）3月10日という日付が記憶されていますが、その後も4月、5月と空襲は続き死者数は11万人を超えています。

狩野氏が「低空で飛ぶB29と避難住民」から描き始めた連作は20枚にも及びます。18番目は「昭和天皇、深川巡察」ですが、解説文には次のように書いてありました。「3月18日に天皇陛下が視察に来るので道をきれいにしておけ」・・・天皇は焼け野原は見たが遺体は目にしていないという。もしあれだけの遺体を天皇が見ていたとしたら、終戦の時期は早まっただろう（狩野さん談）、とあります。昭和天皇は、このとき44歳という男盛り。悲劇は、オキナワ、ヒロシマ、



ナガサキと繰り返されます。

パネル展の中間日となった8日は「北京オリンピック」が開幕しました。しかし、同日、「ロシアがグルジア爆撃南オセチア進攻に報

復」（朝日新聞）に世界中が唖然としました。スペインの小都市ゲルニカ（独軍）から始まった空爆は重慶（日本軍）、そして「9・11」と市民を攻撃対象にしてきました。

「戦争と平和」を語り継ぐ常設展示館がない中で「パネル展」は貴重な体験でした。

原爆と人間展 2,766人が入場

土浦平和の会ニュース No.198より

被爆63年の「原爆と人間展」は今年もウララ5階の県南生涯学習センターギャラリーにおいて、8月1日から7日まで行なわれました。6日間（4日は休館）の入場者は4年間で最高の入場者になりました。核廃絶署名は191筆、九条署名も94筆できました。スタッフのみなさんご苦労様でした。2日のピースデーは午前中 鎌仲ひとみ監督がイラクの劣化ウラン弾の被曝者、広島・長崎の2次被曝の被害、さらに肥田舜太郎氏がアメリカワシントン州ハンフォード核施設周辺の低線量被曝の恐るべき拡散を取材して、国境のない核汚染の実態に警告を鳴らしたドキュメント映画「ヒバクシャ

地球の終わりに」を上映、午後は広島の被曝者中村房江さんの証言、07年土浦市平和使節団の報告、アニメ映画「つるにのって」の上映があり、延べ70人が参加しました。

平和かわら版

No.510
月3回 発行
2008.9.5

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



戦争と平和を考えるパネル展

内原・友部平和の会 円道 正三

期間：8月5日～17日 場所：笠間市友部図書館

パネル展は、市民のみなさんに、身近な旧友部町に作られた筑波航空隊の旧跡の写真による紹介をはじめ、戦争のため巨額な軍事費が組まれた国家予算の年次経過をグラフに示し、どんなに重い税負担が国民生活を直撃していたか資料を示し、戦争と平和を考える機会にしていたことを求めました。

パネル展には、小学生の子供連れの親の姿をはじめ、乳母車を押した若夫婦、年配の夫婦、青年、婦人など多くの人が訪れました。

寄せられた意見の一部を紹介します。

☆どうしてこんな重い税負担と軍事予算一色の国家予算を防ぐことができなかったのか（70代の婦人）。

☆中々見ごたえのある資料を紹介している。戦争は反対であるが、どう防ぐかについて見解が違ふと思う。でも平和を考えることは大切だ（70代、元幹部自衛官）。

☆当時の笠間市地域の人口は少なかつたでしょう、こんなに沢山の青年が戦死していたのだ、知らなかつた（20代の青年）。
☆自分は小学生で戦前の教育を体験した。あれでは戦争に行つて人を殺すことに何の疑問も持たないし、国のため死ぬことを当然だと思つた。教育は大変重要で間違つては大変なことになるよ（70代男性）。

☆毎年、戦争と平和を考えるような写真展を開いて若い人に見せて欲しい、体験者が少なくなつている。私たちの苦難を忘れないで欲しい（80代男性）。

原水禁世界大会に参加して

日立 小林春香

8月4日、多くの方の支援をいただき、原水爆禁止世界大会に参加することができました。私は世界大会に参加するのは2回目でしたが、1回目の時の記憶はあまりなく、参加することができてうれしかつたです。

長い時間電車に乗つてたどりついた広島は、予想以上に暑く慣れるのかとてもたいへんでした。原爆の子の像の前についた時は、ああやつとこれたんだと美惑の思いでいっぱいでした。



千羽鶴のツルは中学校時代の友だちや高校の友だちなどに手伝つてもらいました。最初はなかなか「手伝つて」と言い出せなかつたのですが、折り紙を学校に持つていつてツルを折つていると、「私にも折らせて〜!」などずすんて言つてくれて、たくさん友だちから協力してツルを折つてもらふことができました。なので、このみんなの思いのこもつた千羽鶴を広島に持つてい<こ>ことができ、周りの人々にはとても感謝しています。

開会総会の行われたグリーンアリーナでは、いろんな地方の人がたくさん集まつていて、この人たちも皆、同じような思いでこの広島に来たのかと思うと、すごうれしかつたです。

原爆が使われることは2度と許されないとだと思ひます。分科会「学習の広場」での佐藤さん、和田さん、岩崎さん（被爆者や活動家）の話聞いて、改めてそう思ひました。戦争についての漫画やアニメーションで描かれな<く>らいひどいことか行われたことを知り、ぞつとしました。私たち10代は戦争を体験してないから、想像しかいその実態を考えることができませぬ。けれど、さまざまな人の体験を聞くうちに、あの私たちが生まれるずっと前に行われた戦争のむごさ、ひどさ、苦しみかじわいわた伝つてきました。「戦争をすれば兵器が売れてお金がもうかる」なんて、後に残るのは悲しみだけです。アメリカは「戦争を早く終わらせるために原爆を日本に落とすた」と言ひますがそれはうそだと思ひます。結果、日本は負けを認め、経済的にアメリカの支援もあつてよくなつたのかもしれませぬ。けれど、原爆は戦争が終わつてからも人々を長い間苦しめていひます。まだ、苦しみと闘ひ続けていひます。

講師の安斎育郎先生の話を聞いて、原爆禁止の活動を続けていくことは大切なのだ、改めて気づくことができました。これからも、まわりの友だちをまきこんで、核兵器や戦争について考えてもらふように努力したいです。

6日、開会総会を終えて、最後に電車が止まつたリビエラニ

ングがいゝるありたいへんでしたが、無事、広島から茨城に帰れてホツとしました。今回、原水爆禁止世界大会に参加してゐるゝるとたいへんでしたが、たくさんを勉強することができてよかつたと思ひます。また、広島に行くにあたつて、寄付をしてくれた方々、ツル折りに協力してくれた方々、本当にありがどうございました。

イベントのお知らせ

稲のパワーのおすそわけ！

第15回 さあ、稲刈り

主催 一緒に作るう！日本のお米実行委員会
とき 9月15日(祝日) 午前10時から ※雨天決行
ところ 小美玉市(旧・小川町) 百里平和農園
ひよう 年齢×100円(上限1000円)
※汚れてもいい服装と靴、My 食器をご用意ください。
稲刈り作業前に、農業の講習会。みんなで語る交流会、ヒューマンパワー・マーズのコンサートも行われます。

~名古屋高裁違憲判決を学ぶ~

- 自衛隊イラク派遣と憲法9条の今 -

とき 9月21日(日) 午後2時から5時
ところ 東海村舟石川コミセン 会議室
講師 矢田部 理 弁護士
主催 九条の会東海準備会
名古屋高裁判決の意義と、憲法9条をめぐる国会内外の政治状況に与える影響について明らかにして頂きます。DVD「イラク戦場からの告発」の鑑賞もあります。

事務局便り

またちや自公政権移行
出し、安倍首相の時
今回は違つと福田首相は
強調しました。その違
いは何処に。どちらも
アメリカと大企業言いな
り、国民の暮らしを破
壊の構造改革に固執した
ことで違ひない。あ
えて違ひを言へば即入院
とサバサバと会見に臨ん
でゐる違ひだらう。
ともあれ秋の政局
平和が前進する展望を切
り開くために頑張ろう。
(加)